

平成 2 1 年度第 1 回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	平成 2 1 年 7 月 2 3 日 (木) 午前 9 時 3 0 分から 1 1 時 3 0 分 富山市役所第 4 委員会室
委員 (委員数 5 名) 出席 5 名 欠席 0 名	委員長 米 田 政 明 (富山工業高等専門学校校長) 委員 新 畑 彬 (大沢野地域審議会委員) 委員 尾 畑 納 子 (富山国際大学地域学部教授) 委員 島 谷 武 志 (弁護士) 委員 橋 本 邁 (税理士)
次 第	1 開会 2 富山市の入札・契約手続の運用状況について ・富山市の建設工事等の入札・契約制度について ・入札・契約事務の改善について ・入札・契約別の発注工事及び落札率について ・指名停止の運用状況について 3 審議対象工事の抽出について 4 抽出工事の審議 5 審議結果のまとめ 6 閉会
対 象 期 間	平成 2 0 年 1 0 月 1 日から平成 2 1 年 3 月 3 1 日まで
抽 出 工 事 (落札率)	1 0 件 (対象工事件数 6 6 5 件) 一般競争入札 (3 件) ・水橋消防署移転改築主体工事 (95.95%) ・水道施設監視システム整備 (その 2) 工事 (85.16%) ・富山公共下水道浜黒崎浄化センター水処理施設更新機械設備工事 (68.50%) 指名競争入札 (6 件) ・流域関連富山特定環境保全公共下水道野口北部地区舗装復旧 (その 1) 工事 (97.29%) ・水橋漁港西護岸ブロック製作工事 (96.94%) ・山室第 2 土地区画整理事業区画道路 6 - 2 6 号線外道路築造 (その 2) 工事 (98.47%) ・下野新線道路改良工事 (98.60%) ・県単独森林整備事業林道祖父岳線改良工事 (99.44%) ・新駅西側歩道整備工事 (90.00%) 随意契約 (1 件) ・市道榆原宮の前線側溝改良工事 (99.46%)
審 議 の 概 要	別紙のとおり
委 員 会 の 意 見	平成 2 0 年度下半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

意見・質問	回 答
中間前払金制度の対象となる工事は。	契約金額が200万円以上の工事を対象としている。
調査基準価格の見直しにより、今後より多くの案件が低入札価格調査の対象となるが、審査も厳格にしてい	過去に発注実績を勘案した金額帯の設定となっている。
く必要がある。 一般競争入札の入札参加資格基準の改正により、土木のB・Cランクの参加できる金額帯が狭まっている。	
「水道施設監視システム整備(その2)工事」の入札で、最低価格の入札者は予定価格の54%強で入札しているが、何か安価で入札できる理由があるのか。	電気工事は工事費に対する工場製品の割合が大きいものも多く、製品を安く仕入れることができれば、安価で施工できるものと思われる。
失格基準により失格となった業者は、自分たちが落札とならずに次順位の入札者が落札になったことは認識しているのか。	失格基準により失格となった業者にはその旨の通知をしている。
「富山公共下水道浜黒崎浄化センター水処理施設更新機械設備工事」を4社JVで施工する理由とは。	4社JVでの施工は発注基準に準じたものであるが、できるだけ幅広く業者に受注の機会を与えて、経験を積んでもらうという意味もある。
「富山公共下水道浜黒崎浄化センター水処理施設更新機械設備工事」の落札者の構成員の出資比率は。	出資比率は55・15・15・15。
「下野新線道路改良工事」で地理的条件を考慮しての指名だが、実績は考慮されていないのか。	本工事の対象である土木のB・Cランクの業者については、すべて実績を持っているため、地理的条件のみを考慮して指名した。